

「山野草のエキ」保存会

92才の老人が350種の山野草の花が咲く森を創設,その保護活動



実施状況	参加者数	助成区分	植栽	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙
		参加者満足度	100%	活動の全体目標に対する達成度		100%

活動目的

350種の山野草の花が咲く生きた図鑑のような森を実現させながら、この森を後世に引き継ぎ、同時に県内外から多くの方に感動して頂ける西日本一の山野草の森を目指す。

活動内容



過去に限られた人数と時間で保存活動を行っており、出来るだけ効率よく作業を進める為に、各自が持参していた道具類を20人以上が一齐に活動出来るよう道具(鋏・スコップ・ジョレン・槌・鋸等)を一括購入し揃え、その道具類を補完する小屋の建設する事で、山野草の保護活動や整備状況を向上させ、山野草見学者が快適で安全に園内を見学できるよう誘導看板も製作し設置を行う。

成果



限られた人数で28000㎡の山野草の森を整備するには大変ですが、今回新たな道具と小屋を建設する事で、以前に比べ格段の整備(草刈り・遊歩道整備・植栽等)が行き届き、同時に素敵な木製の案内表示板が設置され、見学者にとってより分かり易く、より魅力的な山野草の森が築かれたと実感。

工夫した点



- 1、小屋を低価格で建設する為に、小屋の基礎を手作りで行い、県外の広島コストコまで行き、組立の小屋キットを購入し組み立てる。
- 2、今回の助成が末永く生かされるよう少し値段が高いが、看板を自然素材に拘り、しかも40～50年は腐らないウリン木材を使う。

今後の課題

保存会のボランティア会員・山野草見学者全体の高齢化が近い将来、進む事を懸念、この問題を今後真剣に考え対応策を進める必要がある。

